SDGs達成に向けた取組みチェックリスト

事業者名：株式会社アミカテラ　くまもと水俣工場

・基本項目は25項目全てに、チャレンジ項目は25項目のうち5項目以上に具体的な取組みを記載してください。
・「企業」や「社内」とあるものは、NPO法人や個人事業主等はそれぞれの形態に応じて、読み替えてください。
・【予定】の項目は1年以内に【〇年〇月実施】として、具体的な取組みを記載のうえ、提出してください。

（様式第2号）

分類	No.	チェック項目	基本	チャレンジ	具体的な取組み （※事業者が記載する欄）	主なSDGs（17のゴールと169のターゲット） 1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
組織・公正な取引	1	【内部管理体制】 ・経営理念及び経営目標を社内で共有、実践している。	●		Amica-Terraの社名の意味と「生きとし生けるものの故郷＝地球への感謝を忘れず優しくあれば、そこに住まう生命が末永く幸せに暮らしていける」という思いを月1度の全社会議内で共有し確認するとともに、如何に地球環境に貢献できているかを半年ごとに見直しの会議をしている。								8	9								17
	2	【法令遵守】 ・法令遵守の考えが社内に浸透し、法令を確実に遵守する体制・仕組みを構築している。	●		関連法規についてオンライン研修システムを用い、週に一度当該工場従業員一同にて研修を行っている。 法令順守の社内規定は就業規則の中に記載しており、また賞罰についても記載している。 全社員社内規定は配布・既読している。																16	
	3	【公正な競争】 ・不正競争行為に関与しない方針を掲げ、社員に周知している。	●		関連法規についてオンライン研修システムを用い、週に一度当該工場従業員一同にて研修を行っている。公正な競争について学びの機会を設けている。 不当競争行為の禁止についても社内規定に記載して明文化している。 また、仕入れ等に関しても稟議書の提出が義務付けられており、役員会議でチェックする体制にしている。										10						16	
	4	【組織体制】 ・企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対応する担当や専門部署などの体制を整備している。	●		担当者として工場長を任命しており、さらに副工場長も現場での細かなチェックもおこなっている。 当該工場での製造そのものがSDG'sにかかわることであり、原料の管理、省エネルギー化がSDG' sの更なる推進になることと把握した上で作業工程を行っている。																16	
	5	【知的財産保護】 ・知的財産の保護に取り組んでいる。	●		自社開発素材の特許を取得しており、知的財産部も設置し責任者を置き全社的にも知的財産保護への意識付けを徹底している。								8.2 8.3	9							16	
	6	【個人情報保護】 ・個人情報を適切に管理している。	●		関連法規についてオンライン研修システムを用い、週に一度当該工場従業員一同にて研修を行っている。 個人情報保護の社内規定は就業規則の中に記載しており、また賞罰についても記載している。 全社員社内規定は配布・既読している。																16	
	7	【ステークホルダーとの対話】 ・ステークホルダー（※）との対話により、自社の活動がステークホルダーに及ぼす影響を把握し、適切に対応している。（※利害関係者：消費者、投資家等及び社会全体）	●		投資家に対し毎月の定例会にて情報開示の場を持ち意見交換を行っている。また、行政機関とも連携した取り組みを行っている。																16	17
	8	【サプライチェーン管理】 ・サプライヤー、事業パートナー等と、人権侵害の防止、生物多様性や生態系への悪影響の防止、倫理面での適切な対応（ハラスメント・汚職・贈収賄防止）について認識を共有し、共に取り組んでいる。		●	サプライヤーは主要株主であり、毎月の定例会にて情報共有を行っている。					5			8		10		12	13	14	15	16	17
	9	【災害や事故への備え】 ・地震や水害などの自然災害や事故などに備え事業継続計画（BCP）を策定し、訓練や見直しを行っている。		●	自然災害時や事故などの際の対応マニュアルを作成し、対応について訓練を行っている。									9		11		13.1			16	17
	10	【事業承継】 ・事業承継に関する検討・対策を行っている		●									8	9								17
	11	【公正な貿易】 ・フェアトレード商品の調達に取り組んでいる。		●		1	2			5			8				12	13	14	15	16	17

SDGs達成に向けた取組みチェックリスト

事業者名：株式会社アミカテラ　くまもと水俣工場

・基本項目は25項目全てに、チャレンジ項目は25項目のうち5項目以上に具体的な取組みを記載してください。
・「企業」や「社内」とあるものは、NPO法人や個人事業主等はそれぞれの形態に応じて、読み替えてください。
・【予定】の項目は1年以内に【〇年〇月実施】として、具体的な取組みを記載のうえ、提出してください。

（様式第2号）

分類	No.	チェック項目	基本	チャレンジ	具体的な取組み （※事業者が記載する欄）	主なSDGs（17のゴールと169のターゲット） 1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
労働・人権	12	【差別の禁止】 ・性別、年齢、障がい、国籍、出自などによる差別や各種ハラスメントを防ぐ体制が整備され、社内で差別や人権侵害がないことを確認している。	●		各人の年齢・経歴・居住地も様々な環境の中で、お互いを尊重する文化が形成されている。また、オンライン研修システムでの研修も実施している。				4.3 4.4 4.5	5.1 5.2 5.5			8.5 8.7 8.8		10.2 10.3						16.1 16.2 16.7	
	13	【労働安全衛生】 ・業務中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境の整備に取り組んでいる。	●		労働基準法に基づいた勤務体系を取り、有給休暇取得の推進している。 「健康と安全第一主義」のもと健康管理に伴う医療機関での診療を推進している。 安全管理者も配置している。			3					8.8									
	14	【公正な待遇】 ・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿って対応している。	●		従業員（正社員・パート社員）の公正な待遇を行っている。 厚生労働省『同一労働同一賃金ガイドライン』に則った待遇制度を推進している。 具体的に同様の内容、職務においては同一賃金となっている。					5.5			8.5		10.2 10.3							
	15	【ワークライフバランス】 ・働き方の見直し等により、過度な長時間労働を防止し、家庭と仕事の両立を図るためのワークライフバランスを推進している。	●		製造計画に基づき休憩時間の確保、及び時間外労働を極力無くすための取り組みを実施している。			3		5.5			8.5 8.8		10.3							
	16	【人材育成】 ・適切な能力開発、教育訓練の機会を従業員に提供している。	●		各人が自分のスケジュールに合わせて自由に受講できるオンライン研修システムを導入。豊富なテーマの中から学びたいテーマを選び、各人が学べる環境を整えている。 当工場では研修時間の確保のため、週に一度短時間での研修時間を設けて全職員での研修を実施している。				4	5.5			8	9								
	17	【健康経営】 ・従業員が心身ともに健康を維持できるよう対策を講じ、生産性の向上等に取り組んでいる。	●		年に一度の健康診断の実施、インフルエンザ予防接種の経費補助（社員全額）、新型コロナワクチン接種時の副反応発生時の休暇制度などを導入している。			3					8									17
	18	【ダイバーシティ経営】 ・多様な人材（女性、外国人、障がい者、高齢者等）が、十分に活躍できる環境の整備に取り組んでいる。	●		定年退職職者を再雇用している。 定年制を導入せず本人の意欲に合わせて勤務を継続できる雇用環境を整えている。 性別・年齢層を区別せず幅広く多様な人材を採用している。				4.4	5.1 5.5			8.5		10.2 10.3						16.7	
	19	【新しい生活様式への対応】 ・新型コロナウイルスをはじめとする感染症対策としても有効なテレワークや時差出勤、ウェブ会議等を導入している。		●	テレワーク、時差出勤、Web会議等を積極的に活用している。 新型コロナウィルス感染予防研修等も実施している。			3					8	9.1		11	12					
	20	【デジタルトランスフォーメーション（DX）の推進】 ・ICTやAIを活用したデジタル化やオンライン化等のDXの推進により業務の効率化やビジネスモデルの変革に取り組んでいる。		●									8	9.1		11	12					
	21	【ブライト企業】 ・ブライト企業に認定されている。		●				3	4				8	9			12					

SDGs達成に向けた取組みチェックリスト

事業者名：株式会社アミカテラ　くまもと水俣工場

・基本項目は25項目全てに、チャレンジ項目は25項目のうち5項目以上に具体的な取組みを記載してください。
・「企業」や「社内」とあるものは、NPO法人や個人事業主等はそれぞれの形態に応じて、読み替えてください。
・【予定】の項目は1年以内に【〇年〇月実施】として、具体的な取組みを記載のうえ、提出してください。

（様式第2号）

分類	No.	チェック項目	基本	チャレンジ	具体的な取組み （※事業者が記載する欄）	主なSDGs（17のゴールと169のターゲット） 1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
環境	22	【環境汚染予防】 ・廃棄物や有害化学物質の適切な管理、及び処理に取り組んでいる。	●		工場では有機化学物質を使用しておらず、汚染水の排出もない。 従来廃棄物とされていた植物残渣を原料として活用することで廃棄物削減に貢献している			3.9			6.3					11.6	12.4		14.1	15.1		
	23	【エネルギー】 ・電力やガソリンなど、自社のエネルギー使用量を把握し、その削減に取り組んでいる。	●		当工場は2013年に運転し始めたので、前年度との比較等は出来ませんが、石油系プラスチックを代替することによるエネルギー削減量と費用対効果算出（算出シートより）によると、【予定】最大キャパ製造時（2024年）には1年間で電力量70千kwの削減が見込まれる。							7.3						13				
	24	【温暖化対策】 ・自社の温室効果ガスの排出量を把握し、排出の抑制に取り組んでいる。	●		当工場は2013年に運転し始めたので、前年度との比較等は出来ませんが、石油系プラスチックを代替することによるCO2削減量と費用対効果算出（算出シートより）によると、【予定】最大キャパ製造時（2024年）には1年間でエネルギー起源のCO2がおよそ3600トン、直接的CO2がおよそ130トン削減がみこまれる。		2.4					7.2 7.3 7.a					12.4	13	14	15		
	25	【生物多様性】 ・自社活動が環境（生物多様性や生態系等）に悪影響を及ぼさないように配慮している。	●		植物由来原料を主成分の素材であり、自然環境下での生分解性の素材でもあるので、プラスチック汚染問題の解決に貢献している。						6.6								14	15		
	26	【効率的な資源利用】 ・ごみを減らし、資源を有効的に繰り返し使うため、発生抑制（リデュース）、再使用（リユース）、再生利用（リサイクル）に取り組んでいる。	●		地域の竹材（放置竹林も含む）や廃棄されていた木の皮、稲わら・もみ殻などの宿物残渣を原料として活用している。 製品を回収して粉砕・再製品化などのアップサイクルの仕組みの構築に取り組んでいる。									9.4			12.2 12.4 12.5		14.1	15		
	27	【水の管理】 ・熊本の水資源の質と量の保全に取り組んでいる。	●		水俣工場では乾式工法を採用しており、汚染水排出ゼロに取り組んでいる。		2.4				6.1 6.3 6.4 6.6 6.b					11.5			14.1 14.2 14.3	15		17
	28	【環境に配慮した製品等】 ・環境に配慮した製品の購入や製品の開発・製造に取り組んでいる（グリーン購入、リサイクル製品認証等）。	●		植物由来原料を主成分に製造した生分解性素材（modo-cell®）の製造と販売を行っている。									9.4			12.4 12.5	13	14	15		
	29	【食品ロスの削減】 食品ロスの削減に取り組んでいる。		●		1	2				6.4						12.3		14	15		17
	30	【緑の保全管理】 ・壁面緑化や植栽など緑の創出と保全、管理に取り組んでいる。		●												11.6 11.7		13.1 13.3		15		17
	31	【エネルギー効率の見直し・再生可能エネルギーの利用】 ・高効率機器の導入等によるエネルギー使用率の改善またはや再生可能エネルギーの利用や供給に取り組んでいる。		●								7.1 7.2 7.3 7.a		9.4		11.5		13.1 13.3				
	32	【森林資源の循環利用に向けた取組み】 ・”伐って、使って、植えて、育てる”の持続的な森林利用への取組みを推進している。		●	製材業の過程で排出される木の皮を原料として有効利用。竹の活用で放置竹林の解消するなどして、これらにより森林利用への取組を推進している。						6			9.4		11.3 11.4 11.5	12.2	13		15		
	33	【植林等の取組み】 ・植林等の森林整備活動に取り組んでいる。		●							6.1 6.3 6.6					11.3 11.4 11.5	12.2	13		15		
	34	【海洋ごみ】 ・環境中で分解しにくいプラスチックの使用削減等、海洋ごみ、海洋汚染の防止削減に貢献している。		●	植物由来原料を主成分に製造した生分解性素材（modo-cell®）の製造と販売を行いプラスチック汚染問題解決に寄与している。（海洋生分解を有する素材）												12.2 12.5		14			
	35	【環境に配慮した交通手段】 ・電車やバスなどの公共交通機関の利用や、電気自動車や水素自動車などの環境にやさしい自動車の使用を促進している。		●										9.4		11.2		13.1 13.3				
	36	【2050年CO2排出量実質ゼロへの取組み】 ・2050年CO2排出実質ゼロを目指し、計画的にCO2削減に取り組んでいる。		●								7.1 7.2 7.3 7.a		9.4		11.6 11.a	12.8	13				17.2

SDGs達成に向けた取組みチェックリスト

事業者名：株式会社アミカテラ　くまもと水俣工場

・基本項目は25項目全てに、チャレンジ項目は25項目のうち5項目以上に具体的な取組みを記載してください。
・「企業」や「社内」とあるものは、NPO法人や個人事業主等はそれぞれの形態に応じて、読み替えてください。
・【予定】の項目は1年以内に【〇年〇月実施】として、具体的な取組みを記載のうえ、提出してください。

（様式第2号）

分類	No.	チェック項目	基本	チャレンジ	具体的な取組み （※事業者が記載する欄）	主なSDGs（17のゴールと169のターゲット）																
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
製品・サービス	37	【製品・サービスの安全性と品質】 ・製品・サービスの安全性や品質を確保する仕組みを構築している。	●		植物由来の原料で製造し利用することで環境にも優しく、あらゆる方にも安心して利用していただける製品の提供に取り組んでいる。			3.9						9			12.4					
製品・サービス	38	【ユニバーサルデザイン 】 ・障がい者、高齢者に特定せず、誰もが利用しやすいサービス提供や環境整備を行っている。	●		販売する成形品は、持ちやすさ使いやすさなどを考慮して製造するよう成型会社とも連携して行っている									9.1	10	11.7						17
製品・サービス	39	【地域資源】 ・地産地消を推進し、熊本県産の原材料を優先的に使用している。		●	生分解性素材（modo-cell®）を製造する際の主原料の一つである竹は、熊本産の竹を優先的に活用している。		2.3 2.4					7.3	8	9		11.a	12.3	13	14	15		17
製品・サービス	40	【木質化の取組み】 ・自社の執務室等の天井や床、壁等の内装や外壁等に木材を使用し、木質化を推進している。		●								7					12.2	13.1		15		
製品・サービス	41	【社会課題解決】 ・社会課題を解決するための製品・サービスの開発・展開に取り組んでいる。		●	植物由来原料を主成分に製造した生分解性素材（modo-cell®）の製造と販売を行うことで、プラスチック汚染問題解決に取り組んでいる。（海洋生分解を有する素材）	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
製品・サービス	42	【攻めの農林水産業】 ・地域における産学官連携等による新たな品種開発を促進するなど、地域レベルで農林水産業の生産能力向上に努めている。		●			2.3 2.4						8.2	9.2 9.4		11.a	12.2		14	15		17
持続可能な社会・地方創生	43	【地域への参画】 ・自治活動や福祉活動、防災活動や寄付、ボランティアなど社会貢献活動に積極的に取り組んでいる。	●		林野庁の「森林・山村多面的機能発揮対策交付金制度」を申請する熊本県のボランティア団体の活動で発生する廃竹材の受け入れに協力している。	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
持続可能な社会・地方創生	44	【防災、減災、レジリエンス（自助）】 ・過去の地震や水害などの災害を教訓に、事業への被害を防止・軽減するため、ハザードマップを確認し、避難行動計画や事前防災対策を進めている。	●		竹林整備業者・ボランティア団体と協議し、放置竹林問題にかかわる災害を考慮した取り組みなど、行政機関と連携した取り組みを行っている。				4							11.5		13.1			16	
持続可能な社会・地方創生	45	【防災、減災、レジリエンス（共助）】 ・地域防災の担い手としての認識を持ち、防災士、水防団員、救助救急等の必要な技能を持つ社員を育成したり、地域消防団の活動に参加している。		●		1.5		3	4						10.2	11.5		13.1			16	17
持続可能な社会・地方創生	46	【防災関連商品の開発・販売】 ・防災関連商品の開発・販売を促進している。		●										9		11	12	13.1				
持続可能な社会・地方創生	47	【SDGsの普及啓発】 ・環境問題や人権問題をはじめとした社会課題の解決に向け、SDGsの普及啓発や教育機会の提供を行っている。		●	弊社会長がプラスチック問題等をテーマとした講演を行い、関心の喚起につなげており、本工場でも社員に対しての意識高揚教育等に取り組んでいる。	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
持続可能な社会・地方創生	48	【インターンシップ等の受入れ】 ・職場体験、インターンシップの受入れ、職場関連授業の実施など、地域の児童や学生に対し、職業の学びの場を提供している。		●					4				8.6		10.2							17
持続可能な社会・地方創生	49	【若者の地元定着等】 ・若者の県内就職を促進する取組みを行っている。		●	本工場の従業員は水俣市在住（20代～60代）であり、地元の高校生対象の「しごと発見塾」などへも積極的に参加し、仕事内容などのアピールも行っている。				4.4				8.5 8.6									17
持続可能な社会・地方創生	50	【農林水産業の担い手確保】 ・子どもに対する農林水産業教育を行うなど、地域における農林水産業従事者の確保に取り組んでいる。		●			2		4.3 4.4 4.5				8.6		10.2		12	13	14	15		17

25　25

・基本項目は25項目全てに、チャレンジ項目は25項目のうち5項目以上に具体的な取組みを記載してください。
・「企業」や「社内」とあるものは、NPO法人や個人事業主等はそれぞれの形態に応じて、読み替えてください。
・【予定】の項目は1年以内に【〇年〇月実施】として、具体的な取組みを記載のうえ、提出してください。